

教育広報

かけはし

第45号 平成12年7月18日発行
千代田区教育委員会



夏はたのしいな(富士見幼稚園)

主
な
記
事

- ☆自分で調べ、考え、学ぶ
— 小・中学校の理科の授業 —
- ☆ウエストミンスター市立学校の生徒来日
- ☆夏休み「図書館子どもまつり」に行こう

夏の太陽に負けないように水しぶきをあげて、おもいっきりプールで遊びました。

*教育広報「かけはし」は資源保護のため再生紙を使用しています。

自分で調べ、考え、学ぶ

— 小・中学校の理科の授業 —

理科の実験で、リトマス試験紙の色の変化を見たときに、「こっそりいるいるなものを試したことはありませんか。最近では「理科はなれ」と言われていますが、実際はどうなのでしょう。そこで、理科の授業の様子などについて、先生に伺いました。

自分たちでつくる授業

麴町小学校 碓 寛

「どうしてなるの?」「おかしいな。」子どもが体育館の天井からつるした二つの大きな球の振れ幅の違いを目で追いつながらつぶやく。よく観察してみると、糸の長さが違う。持ってみると重さも違うようだった。もう一方では、長いレールが敷かれており空のペットボトルが置かれている。坂の上から木の球を転がしてそのペットボトルに当てると、五秒ほど動いた。子どもたちから「オー」という声が上がった。次に同じ条件で金属の球をぶつけてみる。ペットボトルは吹っ飛び二〇センチほど動く。「ウォー」と歓声が上がった。球の「振れ方」と「衝突」のどちらのことに興味をもちたいかと投げかけると、「選んでいいですか。」という声が返ってくる。「そうだよ。自分で調べてみたい方を選んで。」と言った子どもを呼んで手を挙げる。自分の意思で調べることを選択したのである。



次は、調べていきたい問題作りである。自分たちで調べていきたい問題を出し合い、調べる順序を決める。順序が決まったら、実験の方法を考えなければならぬ。必要な材料は何だろう。学校で用意されているもの、自分たちで持ち寄ったものを合わせて製作に入る。できあがったもので実験を試みるが、どうもうまくいかない。こじやない、あーあ、いや、いと改良が始まる。さあ、いよいよ実験だ。それぞれの役割に別れて実験を始めるが、予想通りにいかない。もう一度調べてみようという試行錯誤が繰り返される。あちらこちらで声が上がりますが、無駄話ではない。明らかにしたい問題の解決一点に集中した話し合いである。

学習を終えた子どもたちは、さすがに疲れたようだ。しかし、瞳は輝いている。自分たちで解決したんだという自信に満ちている。自分で問題を見付け、考え、

解決する。これこそ、現代の子どもたちに求められている「生きる力」ではないだろうか。

私たち教師の役割は知識の注入ではない。いかに考えさせ、いかに知的好奇心を揺さぶり、悩ませ、試行錯誤を繰り返させる中で、自分なりの考え方を身に付けることのできる子どもを育てるかにあると考えている。

二十一世紀を担う子どもたち、私たちが大人がいずれ世話になる子どもたちの育成を真剣に考えていかなければならない。



(編者(佐良士高) 氏/JJの式お夏)

中学校の理科の授業を通じて

麴町中学校 関山 康紀

理科の授業を通じて感じingことを、特に近年の状況について述べたいと思えます。

「理科はなれ」といわれて久しいですが、それよりも最近の様子は「記憶はなれ」「自発的な学習はなれ」がはなはだしいように思えて仕方がありません。



まずは「記憶はなれ」ですが、小中学校での学習で興味関心・考える力の重視が叫ばれて以来、一方で暗記や覚えさせることに対しては極論すれば悪のような風潮も感じられ、子どもたちも敏感に感じ取って丸暗記などという心外と言った表情すら見られます。知識が少ないので考える材料が少ない。従って深く考えることもなく、即物的に実験にはとび

科学教育センターの活動について

科学博物館での現地学習

小学校の科学教育センターでは6月24日に上野の国立科学博物館へ現地学習に行きました。

博物館の職員の方に、化石について、ていねいに説明していただきました。本物の化石にさわらせてもらったり、アンモナイトの化石のレプリカを作ったりしました。

博物館の中は、おもしろいものがたくさんあり、一日いても飽きませんでした。



トでも与えれば熱心に取り組みるので自主的に課題をもって取り組める生徒はそう多くありません。

そこで授業ではいかに抵抗感なしに覚えさせるかということに工夫が求められます。同じことでも手を変え品を変え同じことと思わずに何度も書かせるようなプリント、繰り返し発問、視聴覚に訴える各種教材の工夫・自作など単に興味を持たせるだけではなく印象強く覚えさせ、そして次の「考える段階」で「覚えたいこと」が役に立つ教材を準備することで「暗記」が無駄ではなかったと思わせる。そんな授業づくりが目的意識をもたせ自発的な学習に指針を与えるものと考えています。そういった学習を通じて理科という教科に対する成就感をもたせ、すこしでも理科はなれにならない生徒が増えてくれればよいと思っております。

児童・生徒へ興味、関心を持たせ、覚えたことが役立つような授業にする工夫をしているようです。自発的に学ぶことが、今後の生活にきつと生かされていくことと思います。



また「自発的な学習はなれ」の方は、与えられた課題には取り組めるが、自ら考えて行うことも不得手になっていきます。試験前など授業で自習時間にプリン

夏休み「図書館子どもまつり」に行こう!

— 千代田図書館から —

もうすぐ夏休みです。「子ども読書年」を記念し、図書館ではいろいろな催しを行います。お友だちをさそって、図書館で楽しい体験をして一日を過ごしてみませんか。

おはなし会

紙芝居や絵本を読みます。申込みは不要です。当日直接図書館へ。8月23日(水)は保護者向けの読み聞かせミニ講座を行います。

7月26日(水)	幼児向け 小学生向け	午前10時30分～午前11時 午後2時～午後2時30分
8月5日(土)	幼児向け 小学生向け	午後2時～午後2時30分 午後3時～午後3時30分
8月23日(水)	保護者向け	午後2時～午後3時
8月30日(水)	幼児向け 小学生向け	午前10時30分～午前11時 午後2時～午後2時30分

小学生一日図書館員

7月26日(水) 8月9日(水) 23日(水) 30日(水)
いずれも午前9時30分～午後3時30分
貸出作業や本の修理、書庫の見学などをします。小学生4～6年生対象。各回10名定員。希望する日を指定して千代田図書館へ申し込んでください。(電話不可)

映画会

申込みは不要です。当日直接図書館へ。

7月26日(水)	ハローキティ 火垂るの墓	午前11時～午前11時50分 午後2時30分～午後4時
8月9日(水)	ごんぎつね がんばれスイミー 象のいない動物園	午前10時～午前11時 午後1時30分～午後3時
8月23日(水)	おばけちゃん フランダースの犬 ズッコケ三人組	午前10時～午前11時 午後1時30分～午後2時30分
8月30日(水)	小さなバイキングビッケ 夢大陸の子犬クルタ	午前11時～午前11時30分 午後2時30分～午後4時

夏休み宿題相談

8月31日まで休館日を除く毎日午後4時まで開設します。読書感想文の書き方や、自由研究の材料探しの相談を受けます。

お問い合わせ 千代田図書館 内線3174

学校プール開放 午後1時～3時 ※麴町小学校は旧永田町小学校校舎に仮移転中です

	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
麴町小※																		
九段小																		
富士見小																		
お茶の水小																		

対象 小学生以上の区内在住・在勤・在学者(保護者同伴であれば幼児も利用できます)
このほか夏休み期間中、区立小・中学校の児童・生徒は、和泉小学校(神田和泉町1)、昌平小学校(外神田3-4-7)、千代田小学校(神田司町2-16)、のプール個人開放の中で、午前10時～午後5時の時間帯を無料で利用できます。

個人開放についてのお問い合わせは、

和泉小学校プール = ちよだパークサイドプラザ ☎3864-8931)
昌平小学校プール = 昌平童夢館 ☎3251-5641)
千代田小学校プール = 神田さくら館 ☎3256-6061)

夏季合同ラジオ体操会 午前6時10分集合

とき	場所(雨天時)
7月22日(土)	富士見小学校庭(富士見小講堂)
24日(月)	お茶の水小学校庭(お茶の水小講堂)
25日(火)	西神田公園(西神田児童家庭支援センター)
26日(水)	芳林公園(昌平小屋上校庭)
27日(木)	千代田小学校庭(千代田小講堂)
28日(金)	和泉公園(和泉小講堂)
29日(土)	東郷元帥記念公園(九段小講堂)

「夏バテ」をしてしまうと、せつかつく夏休みも楽しく過ごすことが出来なくなってしまう。次の点に注意して、「夏バテ」を予防しましょう。

冷房の温度はこまめに調節。
適温は外気との差が5〜7℃と言われて

夏休みを元気に過ごしましょう。

います。あまり下げすぎないように。
睡眠を十分とる。
睡眠不足になると疲れがとれず、体調も崩しやすくなります。
食事をきびんこやる。
冷たいものばかりでは、栄養やミネラルが不足し、抵抗力も落ちてしまいます。
適度な運動をする。
食欲もでて、夜もぐっすり眠れます。

WELCOME TO CHIYODA

— ウェストミンスター市立学校のみなさん、千代田区へようこそ —



新緑がきれいだった白糸の滝にて

5月26日に、英国ウェストミンスター市立学校のウェストミンスター・シティ・スクール男子生徒7名、ザ・グレイ・コート・ホスピタル女子生徒7名が来日しました。短い期間ではありましたが、千代田区立中学校の生徒の家にホームステイし、中学校に通い、さらに友情を深めました。

文化の違いや、考え方の違いからパートナーと意見が対立することもあったようですが、本気でぶつかりあい、理解しあえたことは、大変貴重な経験となったようです。

この交流をきっかけに生まれた絆は、両校の生徒の胸に、深く刻み込まれたことと思います。

ホストファミリーの感想

- ・箱崎に着いたとき、長旅の疲れは見えましたが、子どもたちは満面の笑みで抱き合って再会を喜んでいました。
- ・なんでも試してみる姿勢には感激した。日本語で挨拶し、おはして食事する事も覚えてくれた。
- ・10日の滞在はちょうどいいと思っていたが、日程の最後にはもう2〜3日欲しいと思ってしまった。
- ・この先もずっと子どもたちが連絡を取り合って長い付き合いになって欲しい。
- ・別れがさびしくつらかった。これほどつらい別れなら二度と引き受けたくないかな。
- ・別れを惜しんで涙している姿は、見ている側もさわやかな気持ちになった。
- ・これからホストファミリーとして受け入れる家庭も言葉などの心配はいらなと思う。

ウェストミンスターの生徒の感想

- ・どこに入るのにも靴を脱ぐのが面倒だった。
- ・布団で寝ることと、低いテーブルで食事をすることが気に入りました。
- ・滞在中地震があったが、事前に聞いていたので一瞬怖かった自分を笑った。
- ・学校ではロックスターのような扱いで、非常に歓迎してくれた。
- ・滞在中、梅雨のさざしもなく、天気も良かったし、すべてが歓迎してくれたようだった。
- ・日本の学校に行くことが楽しみだった。授業中1回だけ寝てしまいました。
- ・ホストファミリーが日本の文化を示し、教えてくれた。本当に楽しく過ごせました。ありがとう。
- ・ホストファミリーがとても親切で家庭的な雰囲気を作ってくれた。



← 歓迎レセプションで最後に記念撮影。会場から去りがたかった。



英語の教科書を正しい発音で読みました。

← 和紙でつくるうちわに色とりどりの絵をかきました。

隅田川を船で下りました。東京のウォーターフロントはどうだったかな。





七夕飾りに願いをこめて 九段幼



大涌谷自然科学館で噴火を疑似体験 和泉小



相模湖ピクニックランドで飯盒炊さん 一橋中



楽しいプール遊び 千代田幼



袍を持つ手に力が入る 昌平太鼓 昌平小



足並みをそろえた運動会の入場行進 九段中

一学期の活動から

工事へのご理解・ご協力を
お願いします

今川中学校校舎の解体・増改修
工事と麴町小学校・幼稚園の解体
工事が始まりました。

今川中学校

【鍛冶町2-4-2】

体育館棟の改修を8月末までに
終了し、2学期から校舎の利用を
再開します。

校舎棟の解体は9月中旬、フェ
ンス設置や校庭整備、トイレ等増
築工事については12月までに終了
する予定です。

麴町小学校・幼稚園

【麴町2-8】

麴町小学校・幼稚園、出張所・
区民館などからなる（仮称）麴町
二丁目公共施設の平成15年2月の
完成を目指し、解体工事を10月中
旬までに終了する予定です。

工事期間中は、近隣の皆さまに
ご迷惑をおかけしますが、周辺の
環境や安全には充分配慮していま
いますので、ご理解、ご協力をお
願いします。

校外宿泊施設のご案内

夏季施設も目前となり、楽しみにしてい
る児童・生徒も大勢いることと思いま
す。そこで校外宿泊施設をご紹介します。

保田臨海学園

昭和40年に開設し、平成6年にリニ
ーアルしました。ここでは小学3年生と
中学1年生が夏季施設を行います。また、
学校が利用していない期間は区民にも開
放されています。



施設の目の前がすぐ海の 保田臨海学園

箱根高原学校

昭和44年に開設しました。元は保養施
設の仙石荘でしたが、強羅の箱根千代田
荘の開設により校外施設として生まれ変
わりました。ここでは小学6年生が移動
教室、小学4年生が夏季施設を行います。
施設には温泉も引かれています。
近くの大涌谷から晴れた日に見える富士
山のスケールの大きさには圧倒されます。



閑静な別荘地にある 箱根高原学校

軽井沢少年自然の家

昭和31年に軽井沢高原学校として開設
し、現在の施設は昭和61年に建てかえら
れました。中学1年生の移動教室、中学
2年生の夏季施設、また小学5年生の婦
恋自然体験交流教室の宿泊場所として利
用されます。道路を挟んで反対側にはメ
レース軽井沢があり、少年自然の家と同
様、一般にも開放されています。



豊かな自然に囲まれた 軽井沢少年自然の家

各施設の職員一同、皆さんの元気な笑
顔に会えることを楽しみに、お待ちしております。

生活用具のうつりかわりー弁当箱ー

外出先などで食べるために持っていく食
事を弁当といいます。そしてこの弁当を入
れるための容器が弁当箱です。

弁当箱といっても、材質や形状でさまざ
まなものが用いられてきました。最初は、
弁当をカシワ・ホオ・竹などの植物の葉や
皮で包み、縄で結んで身につけていました。
また、植物の皮以外に、和紙・麻布などで
作った袋も入れ物として用いられました。
その後、柳行李・竹行李・破籠などが用い
られ始めます。さらに現在用いられている
箱形に近いものが現れます。



竹製・漆塗りのもの



木製・漆塗りのもの



破籠（飯行李）



アルミ製のもの

その材質としては、木・陶器・金属・プ
ラスティックがあります。木製のものには
木地ものと漆塗りの頑丈なものや、折箱の
ようにスギ・ヒノキの薄い板で作ったもの
があります。陶器製のものには、欠損し
やすいという問題があり、これに代わって
軽くて丈夫な金属製（アルミニウム）のも
のが現れました。また、プラスチック製
品が日常生活の中に普及してくると、弁当
箱にも使われるようになります。

随想

きょういく

「昔は良かった」この言葉は、昔を知らない若い人たちには辛い言葉です。

自然はきれいで、人の情もこまやかで、車も少なく、道路や原っぱでは子どもたちが晩ごはんの時間まで遊び、がき大将はいたけれど、いじめはなく、坂の上からは富士山も見えた。確かにそんな環境の中で住み続ける事ができたならば良かったと思います。では、「今」はそんなに住みにくいでしょうか。クーラーの効いた地下鉄や自動車が走り、昔と比べると快適にまたより速く移動は可能になりました。体育館、プール、図書館、児童館、美術館、博物館が整備され、十分も乗り物に乗れば、スポーツや文化的なものに参加したり、見学することもできます。東京に居ながらにして、世界の料理を食べべたり、美術を見ることもできます。確かに、富士山は見えなくなりましたが、昔よりは、より多くの人々は物理的に快適な生活を営んでいると思います。

「昔は良かった」の内容を検討する必要があるのではないのでしょうか。昔の全部が良かった訳ではありません。今のすべてが悪い訳ではありません。「今」を生活している私たちが、今を有意義に生活することが大切ではないのでしょうか。昔の良い面とはなんのでしょうか。それを「今」に実現する方法はないのでしょうか。「原っぱがあり、晩ごはんまで遊んでいた子どもたち」が良い

とするなら、原っぱを作り、子どもたちを遊ばせれば良いと思います。原っぱは物理的な空間と同時に、子どもの心にとって仲間が集える心理的な空間です。昔と同じ原っぱを作っても、今の子どもたちの心に原っぱとして認められなければ意味がありません。そんなに多くの施設を作る必要もないでしょう。バスケットのリングが一つ、

最近思うこと

千代田区立九段中学校校長
島川 登



床の一部はスケートボード可能な固さがあり、多少の大きな音を出しても苦情がなく、子どもたちが群れていても覗まれることもない空間が今の子どもたちには、昔の子どもたちと同じ意味での原っぱだと思えます。「昔は良かった」いまの時代に、昔の良かった部分を作りだそうではありませんか。頭で考えても、話をしても、懐かしがって

いるだけでは、「良さ」は手に入りません。考えたことを口に出し、同士を増やし、みんなで動き出せばなんとか実現できるかもしれせん。もし、同士が見つけにくければ、まず自分一人で、自分のごくごく身近なところからでもしてはどうでしょうか。ビルの上に住んでいても、自分のビルの前の道路を掃除しながら、通りかかった見知らぬ子どもや大人にあいさつをすることも良いのではないのでしょうか。近所の公園の草むしりをしながら、そこに集まっている子どもや親にあいさつをすることもよいのではないのでしょうか。図書館で大きな声で話している子どもたちを見かけたら、ニッコリと笑顔で注意しても良いのではないのでしょうか。

「昔は良かった」の昔は心の中で大切に、今を良くしようではありませんか。大上段に構えて物事を進めると同時に、今自分が出ることから始めると何が動き出すのではないのでしょうか。それをするのはまず私たち大人であり、それを見ていた子どもたちが後に続き、その結果、「今」が良くなるのではないのでしょうか。大人と子どもの「かけはし」となるのは、まさしく私たち大人の一つ一つの行動ではないのでしょうか。

しまかわ のぼる
千代田区立中学校校長

きょういく 随想

編集後記

「かけはし」の取材で写真を撮った時は、全てが会心の一枚なのですが、現像してみると満足できるものは一枚あるかないか。最近普及してきたデジタルカメラでは、撮ったその場で確認が出来て便利なのですが、現像までの期待感が無くなってしまいうような気がします。

今号では、理科の授業についてお伝えしました。実験で失敗して、何度もやり直したことを思い出しました。やり直すたびに新しい発見や工夫が見つかります。何事も失敗を重ねることであまくなっていくのだと思います。

今年も英国・ウエストミンスターから素敵な生徒たちが来日しました。この交流が、日本と英国の「かけはし」になって欲しいと思います。夏休みは事故や病気に注意して、有意義に過ごしましょう。

「かけはし」についてのご意見・ご感想・ご要望をお待ちしております。

教育広報「かけはし」第四十五号
平成12年7月18日発行
編集発行/千代田区教育委員会
〒102-8688 千代田区九段南1-6-11
☎(3264)0151 内3114